

Amir Tsarfati 氏 Q&A 2018年10月29日公開

無断転載を固く禁じます

.....

皆さん、シャローム、こんばんは。 ガリラヤより、アミール・ツアルファティです。 フェイスブックライブをしています。短くアップデートをしてから、Q&Aに入ります。では、お祈りから始めましょう。

お父様。また、こうして世の出来事を見て、そこから大きな励みを得られる事に感謝します。お父様。あなたは、あなたの子供たちがあなたの計画を知っている事を望んでおられ、初めから終わりのことを告げられました。この時代に生きていることを感謝します。お父様。また、あなたが御言葉を通してあなたの子供たち全員に与えてくださった励ましに感謝します。お父様。届いた質問にも感謝します。大勢の人達が時と季節を理解し、あなたの御言葉を理解し、あなたの約束を理解し、また大きな励ましを得ますように。あなたに感謝し、あなたを祝福します。イエスの御名によって。アーメン！

念のために言っておきますと、今、私は自宅にいて、家族も家にいますので、後ろが騒々しいかも知れませんが、ライブをする度に、彼らを外に出す訳には行きませんので、どうぞご理解いただければと思います。

では、短くアップデートから始めます。皆さんの中には、お気づきの方もいると思いますが、イスラエル首相が、イスラム・スルタン朝オマーン訪問から戻りました。さらに、この24時間の間に、アラブ首長国連邦のアブダビで、イスラエルのアスリートが、主に柔道で、金メダルを2つとりました。史上初めて、あちらでイスラエルの国旗が上がり、イスラエル国歌が歌われました。非常に興味深いことです。イスラエルの文化スポーツ省の大臣 Miriam Reagan が、そこに出席していました。ですから、イスラエル首相は、イランの真向かいのオマーンに居て、イスラエルの他の閣僚がアブダビに居たのです。そして、イスラエル首相の空路は、サウジアラビアの真上を通りました。これは、ボイコットとは程遠く、冷遇からは程遠く、イスラエルとスンニ界との大戦争とはかけ離れています。私達は、正反対のことを目にしています。

そして、パレスチナはずっと、自分達がイスラエルの健全を任されていると考え、パレスチナの道路が改善されなければ、イスラエルはスンニ界との正常化の実をエンジョイする事は出来ないと考えて来ましたが、トランプ大統領が選ばれて以来、そして、イランとイランの拡大に対する戦いの結果を世界が目にして以来、我々の周辺のアラブ諸国は、イスラエルは、解決策の一部であって、問題の一部では無いことを理解しています。興味深いのが、オマーンのスルタン、カーブースで、あのスルタンは、信じがたいことに、私達はいつも、世界のムスリムの85%はスンニ派で、15%がシーア派だと言って、他にもイスラムの少数派があることを忘れがちです。

例えばイバード派は、オマーン人口の80%を占めると考えられていて、イバード派は、シーア派とスンニ派の対立よりも古く、シーア派、スンニ派よりも古いのです。つまり、人々が彼らの分派、彼らの信仰、彼らの教えを始めたのは、モハメッドの死後20年の西暦650年ごろです。スンニ派、シーア派に分かれる、はるか以前です。

ここは非常に興味深い国で、そこを利用して、イスラエルは現在、残りのスンニ派、もしくはシーア派界に手を伸ばしているのです。

信じがたいかも知れませんが、オマーンの سلطان は、サウジアラビアの、フーシ派との戦いから 距離を置いています。彼はまた、イランのテロとその拡大からも 距離を置いて、非常に多くの場面で彼は、中立の立場をとっているのです。彼は、ホルムズ海峡の対岸側にいて、ここは、非常に戦略的な地域です。彼はイランの敵で、彼はアラブ首長国連邦、サウジアラビアとイエメンと国境を共にしています。

なので、皆さん、イスラエル首相が サウジアラビアの件で、はるばる出かけて行って、イランとアラブ首長国連邦、サウジアラビアの隣に 降り立つのが、どう言うことか想像できるでしょう。そしてそこに泊まり、 سلطان の宮殿では、彼と彼の妻は、イスラエルのモサドのトップにエスコートされて、ただの訪問でなく、王家訪問です。しかも、 Sultan が、彼らを宮殿の中と市内全体を案内して、もてなしたのです。

皆さん、それだけではありません。オマーンの Sultan は、それを恥とも思っていない。それが、あちこちのメディアで取り上げられて、これはなかなか注目すべきことでした。彼らはさらに、最後に言いました。「オマーンの Sultan は、トランプの和平案で、非常に重要な役割を担う。」

そこから話は、またしても、クリスチャンの中で 広がっている、世紀の協議に対する憂いですが、皆さん、はっきり言うておきます。イスラエルを終わらせる為の、パレスチナの計画の基礎は、完全に破滅しています。エルサレムを得ようとする計画は、すっかり消え失せ、他の場所から何百万という人々を連れ込む計画も、消え失せています。国境と武器を持つ計画も消えました。

皆さん、理解しなければなりません。パレスチナは、絶対の絶対、彼らの望むものは得られません。それは、イスラエルがなくなる事、それが彼らの、そもそものゴールです。それだけでなく、彼らは、イスラエルが 繁栄するのを見ていて、イスラエルが他の 周辺ムスリム諸国と関係を正常化するのを見ています。エジプト、ヨルダンだけでなく、それ以外の湾岸諸国も、です。今や、湾岸諸国も、彼らの石油パワーは 底をつき始めていて、アメリカが最大の 石油輸出国になったことを理解しています。彼らの石油の底がつきつつあるため、彼らは 経済を助成し、活気づける為に 他の道を探さなければなりません。まさその為、ご覧の通り、彼らはイスラエルの技術、イスラエルの開発に頼っていて、それは、彼ら自身の利益のためなのです。ですから、私達は、非常に興味深いことを いくつか見えています。

トランプ大統領が、ネタニヤフを裏切る事を 心配している人に言うておきますが、オマーンの Sultan の宮殿で発表された声明だけでも、彼は、トランプ大統領の和平案の中で、重要な役割を担う意思があると言、ネタニヤフ首相が、実際にこの和平案を推し進めていること、実際に推進している事を、物語っています。これは不意打ちでもなければ、屈辱を与える為でもありません。

では、私は、この和平案がうまくいくと思っているか？ もちろん、思いません。

私は、パレスチナが絶対に受け入れない と思っています。パレスチナの大統領はすでに、エルサレムを自分達の 首都とし、ここに来ている全難民を除いては 自分たちは受け入れないと言っています。まさにこれは、もはや交渉のテーブルにもありません。ですから、世紀の協議については、私は、そこまで心配していません。大きな爆弾、主要問題が、すでに交渉のテーブルから 取り除かれているのですから。そして、そのことが重要です。

ということで、質問に入る前に、 短くアップデートをしようと思いました。

では、始めましょう。

短いアップデートです。ガザでも問題はあります。皆さんご存知の通り、イスラエルはガザに入る事を喜びません。なぜかと言えば、ハマスが終わった後の計画を イスラエルは持っていません。誰も、ガザの責任を負いたくはありません。エジプトも、ヨルダンも、PLO も、誰も。誰も、あそこの責任は負いたく無いのです。

最初の2日は、戦場でイスラエルの先端の、支援や激励をたくさん受けるのは簡単です。しかし、その後が問題です。2百万人以上のパレスチナ人があちらに居て、それを支配しないとイケないのです。

それを我々はしたく無いのです。だから、我々は、今は、意図的に 全てを彼らの詐欺師たちに任せてあるのです。

我々の目は、現在ダマスカスに向けられていますから。我々の目は、現在、シリアに地位を確立しようとする、イランの継続した働きに向けられています。それと、イランとシリア、レバノンの 殺傷能力の高い精巧な武器です。ですからイスラエルは、今、それを見ているのです。

イスラエルは、シリアで活動していない と考えている皆さん、政府高官が今日、実際に確証したのは、イスラエルは、ロシアの飛行機撃墜以降も、 継続してシリアで活動していく。

さて、我々の誰1人として、空爆について報告していませんし、誰1人として、海上からの攻撃を報告していません。ですから、両方の領域が静かであるということは、高い確率で、地上で攻撃していると 皆さんも理解できるでしょう。これに関しては、詳しく掘り下げないようにします。

今回は、短くアップデートですが、私達は、出来事が完全にエゼキエル 38、39 章の 描写に並びつつあるのを見ています。他には何も変化を見ていませんし、他に何も違いを見ていません。

これが、現状である事を、私達は全員理解しておかなければなりません。

最後に一言、11人のユダヤ人が、ペンシルバニア州ピッツバーグのシナゴグで 大量虐殺された件について、お伝えしたいのは、まず、第一に皆さん、これは、ものすごい悲劇である事を 理解しておく必要があります。

ところで、私は、トランプ大統領のように、あんな強い口調で非難する大統領は これまで見たことがありません。彼は、「ユダヤ人を終わらせようとする者は、我々が終わらせる。」と言いました。

これは、曲解のしようがありません。

彼は、ユダヤ人だという理由だけで、ユダヤ人の殺害を呼びかけている団体は 完全に根絶する事を決意しています。

あの地域のかかなりの数のユダヤ人が、公開文書を書いていましたが、基本的に、この状況に対して、トランプ大統領を批判し、彼に汚名を着せていました。

彼らは、リベラルのユダヤ人で、あのシナゴグのラビを代表する者達でもなければ、イスラエル国家を代表する者でもありません。

イスラエルでは、トランプ大統領は、ユダヤ人にとって 最高の出来事の一つだということで、民意は一致しています。また、あのシナゴグのラビでさえ言いました。「もし、トランプ大統領が訪れるなら、我々は喜んで彼を迎える。彼は、我々の大統領だ。我々は、彼をここでもてなしたい。」と。

だから、偽の報道に騙されないようにしてください。

メディアは、全てのユダヤ人達がトランプ大統領を 嫌っているように見せかけますが、これは真実ではありません。

皆さんに言うておきますが、これほど”ユダヤークリスチャン”の価値を尊重し、世界で唯一のユダヤ人国家、つまりイスラエル国に これほど多くのことをしてくれる大統領は、これまでいませんでした。

私達は、確実に、大量虐殺を非難します。私達は、確実に、こういったネオナチ主義者が 全て根絶されるのを見たいと思っています。ところで、これは、アメリカの多くの地域に広がっていますよ。彼らは、オバマ大統領の時代にもいましたし、ブッシュ大統領の時代にも、クリントン大統領の時代にもいましたし、以前から彼らのことは知っていました。

私はずっと、10月に増大する 悪魔的な活動について話してきました。最近の私のアップデートをご覧いただくと分かります。

フロリダで、2人の女の子が、クラスメイトの殺人を計画していて逮捕されました。殺した後血を飲み、実際、サタンへの捧げものとして、死体を切り刻もうとしていたのです。

あの大量虐殺についてお話ししましたが、ルイス・ファラカーンは、ユダヤ人のことを、「私は、「アンチーセム（反ユダヤ）」ではなく、「アンチーターマイト（反白アリ）」だと言いました。リベラル陣営の中で、ルイス・ファラカーンに対して 誰か、怒りを燃やして立ち上がったか？ もちろん、ありません。皆さん、言っておきますが、これは、悪魔的、サタン的で、祈りと家族の価値、聖書的な価値観を尊重する 政権とは、一切関係がありません。これは、この世の君のしていることです。これは、「すでに働いている不法の秘密」です。

以上が、基本的には現在起こっている事です。

イスラエル人は、中間選挙で、両院の 過半数を 共和党が得られない場合をとっても心配しています。それは、大統領がこれまでに、我々を支持して行なってくれたことが、もし、どちらかの議会でこの狂った自民党が勝てば、全て台無しになることを、私たちは理解していますから。基本的に彼らは、現在起こっている、これらの素晴らしい事柄を止めたいのです。

私は、この機会に、皆さんに呼びかけます。2016年の11月に起こった奇跡は、皆が投票に行けば、2018年11月にも起こり得ます。ですから、投票に行って、これらの議会が、ただ共和党の過半数を維持するだけでなく、さらに増加するようにしましょう。そうすれば、引き続き、素晴らしいことが起こるのを見られるのです。

しかし、繰り返しますが、いずれは神の御心がなされます。だから私達は、自分の役目を果たします。神は、神の役割を果たしてください。私達は、素晴らしいことを目にすると信じています。基本的には以上です。

ところで、私は、誰であれ人間に信頼をおきません。私はトランプ大統領も、神があそこに置かれ、ネタニヤフも、神があそこに置かれた人間だと信じています。しかし私は、彼らを信じませんし、彼らを信頼しません。私は、主を信頼しています。しかし、私は、彼らと彼らの仕事を尊敬しています。そして、神が彼らを用いて物事をされる様子に、私は感動しています。だから、そちらに行ってははいけません。私は彼らを信じませんし、私は彼らを崇拝しません。私は、天と地を造られた主を崇拝します。

以上がアップデートでした。

では、Q&Aを始めましょう。大きな反響があって、何百もの質問をいただきました。全部にお答えすることはできませんので、いくつかを選んで、見て行きたいと思います。

ユダヤ人とイスラエルに関する質問や、それからエゼキエル戦争と黙示録について、他には、一般的な質問とか、他には旧約聖書に関する質問、携挙について、反キリストについて、千年王国についてなどです。その全てにお答えしていると、5～6時間かかってしまうので、それは出来ませんが、それぞれの分野で最低1つは答えていこうと思います。

では、まずは、

・エゼキエル 38 章、39 章に関する質問から。
携挙のタイミングは、エゼキエル 38 章、39 章の ゴグとマゴグの戦いの前か、最中か、その後か、いつだと思われませんか？
また、武器を7年間燃やすというのは、大患難の期間を言っているのでしょうか？

これは、素晴らしい質問です。

まず、その日その時は、誰にも分かりません。だから、それが前に起こるのか最中なのか、後なのかは、私には言えません。

ただ、私に言えるのは、聖書は携挙の日ではなく、戦争の日と、平和をもたらす者が興る日を示唆しています。ですから、戦争がどのようにして起こるのか、そして、平和をもたらす者が出る事が分かります。そして、第二テサロニケ2章によれば、その男が本性を現す前に、私達がここを去る事も分かります。そこで質問を、その戦争がどれくらい続くのかに絞ると、それは、私たちには分かりません。戦争は、1～2週間続くかも知れませんが、1～2ヶ月かも知れません。

それは、私たちには分かりません。ただ、分かっているのは、現在、戦争の準備は終わっていて、それが始まれば、それほど長くはかかりません。その戦争そのものより、その戦争の後始末に もっと時間がかかります。

ですから、私は、携挙が起こるまで、まだまだ何年もあるとは思いません。私は、それよりずっと近いと思っています。

私達はすでに、反キリストの興りに向けて世が整っているのを見ています、私は思っています。

そしてもし、私達が去ってからでなければ、彼が興らないなら、当然、そのことから、携挙がどれほど近いかが想定出来るでしょう。

私の口から、携挙の日や時間を聞くことはありません。それは、絶対にありませんから。

長年、多くの人が、携挙をラッパの祭りと繋げて 毎年ラッパの祭りの日に、携挙の準備をしますが、覚えていてください。イスラエルの例祭は、いつもその日、イスラエルの為、イスラエルで、イスラエルを通して成就します。

だから私は、別のラッパの響きとともに訪れる イエスの再臨が、ラッパの祭りとして、その祭りの日に成就されるのだと信じています。

私達が主の元に集められるのは、私達に分かるよう、特定の日に起こるようには意図されていないと思います。

私は、主が発表し、イエスが天から下って来られて、私達と空中で会うのだと信じています。

ですから、ここで、日を定めて「この日だ」と言っても何の意味もありません。

ただ、その出来事の前後の全体像を見れば、残された時間が、それほど多く無いことは分かります。

・黙示録に関する質問です。

取り残された人達は皆、どうなるのか？

これは、とても良い質問です。取り残された人達には、何が起こるのか？

まず、第一に、皆さんに言っておきたいのは、

黙示録4章以降には、その時、世で起こる 恐ろしい事について、書かれています。

聖書は、この期間が短くされなければ、誰も生きて残れない、と告げています。

それは、恐ろしいことです。

それから、信じた人達は、すでにここから 取り去られていることを、覚えていてください。

ですから、大きな可能性として、ここにいる人達は、まだ信じていないイスラエル人か、信じないと決心した異邦人のどちらかです。大患難時代の聖徒が居ることが分かっていますが、それは、そんなに大勢では無いことも分かっています。そして彼らは、恐ろしい時代と試練を 乗り越えなければならない事も分かっています。私は、救われるために、その時代をかけようとは思いません。

信じてください。今、あなたが簡単に拒絶するなら、大患難の時代に、あなたが受け入れるとは、私には思えません。

取り残された人達全員に何が起こるのか？

彼らは、非常に苦しみます。イスラエルでさえ、非常に苦しみます。

だからホセアは、告げているのです。

彼らが自分の罪を認め、わたしの顔を慕い求めるまで、わたしはわたしの所に戻っていよう。 彼らは苦しみながら、わたしを捜し求めよう。 ホセア 5:15

聖書はエレミヤ書の中でも、その時は、 ヤコブの苦難だと語っています。彼らは苦しみます。大変な苦難が起こり、 残された人々は、 非常に恐ろしい状況の中で生きることになる。そして、その大部分は悔い改めません。黙示録 16 章に、彼らは、神にはそれらを止める事が出来る事を知っていながら、 悔い改めず、神に栄光を帰すこともせず、 神の御名を汚す、とあります。

・黙示録に記されている出来事は、 時系列に並んでいるのですか？

いつもそうとは限りません。その理由を説明しますと、例えば、初め、私達は 全ての患難の描写を目にしますが、 それから、詳細に移ります。ところで、これは、 有名な第二テサロニケでも同じです。ここは、多くの信者が混乱している箇所、 第二テサロニケは例えば 2 章で、こう告げています。

さて兄弟たちよ。 私たちの主イエス・キリストが再び来られることと、 私たちが主のみもとに集められることに関して、…だれにも、 どのようにも、 だまされないようにしなさい。なぜなら、まず背教が起こり、不法の人、 すなわち滅びの子が現われなければ、 主の日は来ないからです。

ここで皆が、直ちにいます。「ほら、反キリストが先に興るはずだ。 彼が興り、それから私達はここを出て行く。」 違います。 その先を読んでください。7 節には、こう書いてあります。

不法の秘密はすでに働いています。 しかし今は引き止める者があって、 自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。

そして、こう言っています。

『その時になると』、不法の人が現われますが、主は御口の息をもって彼を殺し、 来臨の輝きをもって滅ぼしてしまわれます。

このように、まず出来事について語り、 それから、物事の詳細を正しい順序で告げています。ですから皆さん、理解しておいてください。 2 節ほど読んだだけで、そこで止めて、 そして早急に何か結論を出してはいけません。続きを読み進めてください。 そうすれば、ものごとの正確な順番が分かります。 黙示録も同じです。黙示録でも、全ての出来事についての 解説から始まります。例えば、黙示録 6 章の最後の数節は、 黙示録で起こる全ての事について告げています。そして、そこから、実際に起こることの詳細へと 続いて行きます。

・では、 イスラエルとユダヤ人に関する質問です。イエスの系図だけが唯一、ダビデの血筋として 存在するものですか？それとも、他にも、 直系の子孫だと主張するユダヤ人がいるのですか？

これは良い質問です。こんにちは、例えば、 私は自分がユダ族の出身である事を知っていますが、 これは、私の父がそう言ったからで、私の父はその父親から聞き、 その父親はそのまた父親から聞きました。

神殿が破壊されて以来、私達にはもう、神殿の古記録や何か、それを証明するものはありません。だから、父から子へ語り継がれているのです。しかし、イエスは、確かにユダ族の出身で、エッサイの根株、ダビデの家です。彼は、神殿が破壊される前に生まれましたから、古文書はまだ、あそこにあります。そしてそれが、彼がその部族の出身であることの 全証拠です。まさにこれが、イエスの血筋が、何よりも明確に、簡単に証明されなければならない理由です。

ところで、ラビ達は、誰一人として、一分たりとも、イエスがユダヤ人ではないとか、ユダ族の出ではないなどと、言いませんでした。当時、それを証明するのは、とても簡単でしたから。ですから、私自身について、私は、間違っているとは思いますが、間違っているかも知れません。しかし、イエスに関しては、絶対に間違いありません。それがしっかりと記録されていることは、聖書が告げていますから。そして当時、神殿はまだあって、これらすべてを証明しています。

- ・ゴラン高原での石油掘削調査活動について、アップデートしてください。
“Genie oil and gas” 会社の働きは、あまりニュースになっていません。

私は、特定の会社の特定の掘削については、報告しないようにしています。会社の宣伝をしたくありませんから。それと、私達が知っている大部分は、彼らの報告が基になっていますから。

ただ、私に言えるのは、私達には、膨大な量の石油とガスがあります。しかしそれは、層の中にあつて、そこに到達するのがかなり大変なのです。それと、ゴラン高原の地形構造上、掘削するには、多くの時間と多くの費用を要します。ですから、今の時点では、我々は、ゴラン高原ではなく 地中海からガスを採ることに集中しています。それプラス、現在シリアで起こっている事から、皆の目の前で掘削して、周辺の反感を買うようなことは避けたいのです。でも、あそこに石油があることも、ガスがあることも我々は知っていて、それから、ガスと石油があることは、イスラエルだけでなく、ロシアも知っているとします。その為に、彼らはすでに、戦争の後の事について話し始めていて、イスラエルが継続してゴラン高原を支配するという 選択肢を、彼らは考えたくもないのです。

- ・サウジアラビアに建設中の NEOM という都市について、どう思われますか？

お伝えしますと、この都市は、まだ建設が始まっていません。
ビン・サルマーン王子、ムハンマド・ビン・サルマーンには、ビジョンがあつて、彼は、なん億ドルという資金を投資していますが、今の時点で、彼には NEOM 建設より大きな、他の問題があると私は思っています。

ところで、もう誰も彼について話していないことに、皆さんお気づきですか？
突然、彼はもう交代させられず、突然、サウジの一家は、誰によっても倒されていない。
このように、ああいう人達はいつも混乱を広めて、ただ、ものごとを発狂的にするだけです。
今、彼らは隠れていますよ。彼らは、自分の穴に戻って行きました。
彼はそこにいますし、彼は強く、彼は継続します。あの件について、彼は謝罪し、あれは犯罪であると考えています。

私は彼を信じるか？ 私は信じませんよ。

しかし、中東ではこういった事が起こるのは、誰でも知っています。
政治的暗殺は、実際、毎週のように起こっていました。クリントンが大統領だった時、クリントンについて知っている人は、ほぼ全員姿を消しました。取り去られたり、連れ去られたり、殺されて、そこから辺で、死体で見つかったり。

私は、このジャーナリストに起こった事と、クリントン大統領とヒラリー・クリントンが、周辺で非常に多くの人達に対してした事と 何ら変わらないと思います。

エルドアンがした事と、シリア政権のする事や、ロシアがしている事と、何ら違いがあるとは思いません。

今、偽善者達は祝っていますが、皆さん、正直に認めましょう。

1人のジャーナリストの死で、サウジアラビア王国全部を倒す事などありません。それは確かです。

・ どうして、旧約聖書の神様は復讐心に燃え、厳しくて、許さないのに、新約聖書の神様は正反対なのか、と、息子が聞いています。

私はあなたの息子さんを愛していますよ？ でも、彼は、完全に間違っています。新約聖書でも、大きな裁き、ものすごい復讐があります。黙示録を読んでください。しかしまた、旧約聖書の中にも、ものすごい許しがあります。例えば、士師記の初めを読めば、主が、当時、イスラエルの民に 何と言われたかが分かります。主は、彼らに言っておられるのです。 まず、士師記 2:16 で、こう言っておられます。

そのとき、主はさばきつかさを起こして、彼らを略奪する者の手から救われた。

そして、このようになります。イスラエル人は、11 節、

それで、イスラエル人は主の目の前に悪を行ない、バアルに仕えた。彼らは、エジプトの地から自分たちを連れ出した 父祖の神、主を捨てて、ほかの神々、彼らの回りにいる国々の民の神々に従い、それらを拝み、主を怒らせた。彼らが主を捨てて、バアルとアシュタロテに仕えたので、主の怒りがイスラエルに向かって燃え上がり、主は彼らを略奪者の手へ渡して、彼らを略奪させた。主は回りの敵の手へ彼らを売り渡した。それで、彼らはもはや、敵の前に立ち向かうことができなかった。彼らがどこへ出て行っても、主の手が彼らにわざわいをもたらした。主が告げ、主が彼らに誓われたとおりであった。それで、彼らは非常に苦しんだ。そのとき、主はさばきつかさを起こして、彼らを略奪する者の手から救われた。ところが、彼らはそのさばきつかさにも聞き従わず、ほかの神々を慕って淫行を行ない、それを拝み、彼らの先祖たちが、主の命令に聞き従って 歩んだ道から、またたくまにそれて、先祖たちようには行なわなかった。主が彼らのためにさばきつかさを起こされる場合は、主はさばきつかさとともにおられ、そのさばきつかさの生きている間は、敵の手から彼らを救われた。これは、圧迫し、苦しめる者のために 彼らがうめいたので、主があわれまれたからである。しかし、さばきつかさが死ぬと、彼らはいつも逆戻りして、先祖たちよりも、いっそう墮落して… (士師記 2 章)

ここで分かるのは、神はいつも、イスラエル人の為側に居られ、彼らが苦しみの中で主を呼び求めると、主はいつでも彼らを救い出されました。しかし、当然問題は、不信仰と反抗で、それは新約聖書の人々も同様です。聖書には、この世に下る主の裁きについて 書かれていますが、それは、新約聖書です。世は、創造の時代以降、最も困難な時代に入ります。旧約、新約、どちらも神のご性質を表して、神は、救い出し、助けたい、救済し、贖いたいと 願っておられます。しかし、同時に、この反抗的な人間の悪い性質が、神を押しつけ、いつも他の神々を好むのです。これが、旧約新約聖書が告げている事です。

・ 契約の箱がどこにあるか知っていますか？

もし知っていたら、私はきっと、世界一大金持ちになっていたでしょう。ただ一つ言えるのは、契約の箱は、少なくともイスラエルのラビの 1 人、Shlomo Goren は、契約の箱の形と大きさのものを 神殿の丘の下で見たと主張しています。そして、それが神殿の丘の下にある、とムスリム達が聞いた時、彼らはその場をセメントで閉鎖し、ヨーロッパからインドネシアのジャカルタに至るまで、暴動等あらゆる事が起こりました。1967年に起こった悲劇です。ですから、最後に契約の箱の形をしたものを見た と主張したのは、ラビ Shlomo Goren です。それは、神殿の丘の下だと言います。私は、それがエチオピアだとは信じていません、それから私は、神がモーセに作るように言われたものは 全て、天にあるものの複製版だと信じています。

・質問は、イザヤ書 26:28 に関してです。

ここは、主が、主を信じる者を大患難から守られる事の、もう一つの確証のように聞こえますが、ヘブル語の視点から解説をお願いしますか？

これに関して、なぜ、信者が 神の御怒りの前に取り去られるのかを説明するには、ヘブル語が完璧だと思います。神の御怒りは、ダニエル書 9 章、11 章は、憤りについて語っています。ダニエルが大患難の後半部分について語る時、彼は、憤りの後半部分について語っていて、英語で「憤り」となっている言葉のヘブル語は「怒り」これは、イザヤ書 26:20 と同じ言葉で、こう書かれています。

さあ、わが民よ。あなたの部屋にはいり、・・・覚えていますか？ 彼は、私たちのために、場所を整えに行かれました。

うしろの戸を閉じよ。「憤り」の過ぎるまで、ほんのしばらく、身を隠せ。

覚えていますか？ 主は、第一テサロニケ 5 章で言うておられます。

「神は、私たちが 御怒りに会うようにお定めになったのではなく」

「憤り」は「御怒り」です。私たちは、それに会うように定められていません。

これは、非常に興味深いですね。確かに、これはもう一つ、私たちが大患難の期間 全体から除外されている事を告げている箇所です。

・ヘブル語と話すイスラエル人の視点から、ミカエルとは、「誰が彼のようであろうか」とか、「誰が神のようであろうか」を意味します。

議論は、これは修辭的な表現なのか、違うのか？

最初にこの「誰が神のようであろうか」が使われたのは ヨブ記だと思います。

これに関して、観点を教えていただけますか？

これはとても簡単です。「誰があなたのようにでありましょうか、主よ。」これは修辭的な疑問ですが、また、神を礼拝する方法でもあって、詩篇 89:8 には、こうあります。

万軍の神、主。だれが、あなたのように力がありましょう。

ところで、詩篇 89:8-9 には、こうあります。

主。だれが、あなたのように力がありましょう。

あなたは海の高まりを治めておられます。その波がさかまくとき、あなたはそれを静められます。

言い換えればこれは、イエスがガリラヤ湖でされた事の完全な描写で、彼が主であることの完璧な例です。

しかし、また、出エジプト記 15:11 では、

主よ。神々のうち、だれかあなたのような方がいるでしょうか。

さらに詩篇 113 章、その他多くの箇所で見られます。

ですからこれは、主を礼拝する方法以外、何でもありません。

・反キリストに関する質問です。

ダニエル 11:37 は、反キリストがユダヤ人だと言っていると思いませんか？

「彼は、先祖の神々を心にかけて、」と告げています。

私は違うと思います。私は、彼が「ユダヤキリスト教」の信仰の中で 育ったと主張する者の可能性が高いと思います。それから、ムスリムも、自分達の父祖はアブラハムだと主張しますから、彼は、ユダヤ人である必要はありません。必要なのは、彼が、サタンの霊に満たされた人間で、サタンの働きと、サタンの計画を促進する事です。だから、彼は、先祖の神々を心にかけていない、つまり、彼は、違う“カミ”、サタンの下で 彼の為に活動するのです。

・最近のマクロンの発言を、どう思いますか？

「トランプが和平案をすぐに発表しないなら、自分の和平案を発表する」と彼はいいました。

私が思うに、マクロンは自分の存在を主張するのに 必死なのだと思います。

彼は、トランプ大統領がものすごく成功している事と、トランプ大統領が、文字どおり古いやり方や古い事は、何一つ提案しない事実に、とても苦しんでいると思います。私が思うに、中東にもたらされる平和に関して、ヨーロッパはいつも、自分達が非常に重要な 役割を担っていると、見せかけようとしています。

私が信じているのは、エゼキエル戦争の後、ヨーロッパは、確かに平和をもたらすでしょう。

しかしそれは、別の人物で、しかも全く異なる計画です。その時、「彼は、…硬い契約を結ぶ」という、ダニエルの言葉が登場します。皆さんの聖書には、「彼が契約を“確認する”」となっていますが、ヘブル語では、契約を「増し加える」という意味です。

おそらく、すでに存在する契約が、彼が紹介する時には、さらに壮大なものになるのです。

エルサレムをイスラエルの首都と認識する以上に、さらに壮大なものとは何かと聞かれるなら、神殿の丘を、我々が再び神殿を建てる場所として 認識する事でしょう。

・エゼキエルの終わりの神殿について、これは、キリストが千年王国を統治するために 戻って来た後起こるのでしょうか？

また、エゼキエルがささげものをしている 「君主」とは、誰ですか？

まず初めに、神には、神殿は一切必要ありません。エデンの園では、神殿はありませんでした。

それから、神が新しいエルサレムで 全てを新しくされる時、そこには神殿はありません。

しかし、人間が神殿を要求し、人間が、そのように神を礼拝したいと望むのです。

第一神殿は、紀元前 586 年に ネブカドネザルによって破壊され、

第二神殿は、西暦 70 年にティトゥスによって 破壊されています。

第三神殿は、すでに設計されていて、高い確率で、反キリストがもたらす和平案の一部で、建設されるでしょう。しかし、その直後に、彼は自分が神であると宣言します。

しかし私たちの知っている通り、それから間もなくしてイエスが戻って来て、オリーブ山にその足が降り立ち、全てを破壊されます。地震が起こり、オリーブ山は裂け、全てがバラバラに崩壊します。

その時に、エルサレムの太古の門がよみがえって、詩篇 24 章が成就します。

門よ。おまえたちのかしらを上げよ。永遠の戸よ。 上がれ。栄光の王がはいって来られる。

(詩篇 24:9)

なので、エゼキエルが描写している第四神殿は、イエスがダビデの王座に着かれる神殿で、それは、“象徴的なささげものの儀式”が行われる神殿です。しかし、どんなささげものも、罪の許しは、一切与える事が出来ません。

ところで、聖書的に、この時代、地上で生きている人が、真に本当の信者になることは 不可能だと思います。私が思うに、彼らはただ必要な事を行うだけの、宗教的な人達です。

なぜかと言えば、私の答えは、「千年王国に関するメッセージを発表するまで お待ちください。」

とても興味深い事を、説明をしますから。

・聖書には、千年王国の後、キリストが、サタンに人々を誘惑させるために、しばらくの間解き放つとありますが、誘惑されるのは、どういう人ですか？

千年王国の時代に、この世に生きている人達です。
そして残念ながら、信者を除いて、私たちを除いて、他のものが、神の家族に加えられるという記述がありません。事実、彼らの数は海辺の砂の数のようにだと 聖書は告げています。

・これらは誰か？
この時代に生きている人とは、誰ですか？

皆さんの中の誰でもありません。それは確かです。皆さんの中で、未信者の方。
もし、あなたが未信者なら、あなたは私たちと一緒に取り去られません。そして、あなたは、ここに
取り残されて、高い確率で死ぬでしょう。サタンが解き放たれるのは、千年後ですから、あなたが、
生きてその戦いに加わることはありません。それは、その時代の世代です。

・主イエス・キリストが統治される千年王国では、2種類の人間がいます。栄光の体の信者達、それと
肉体で生きている人達。
彼らは、それぞれ何ををするのですか？ また、どのように生きるのですか？

実にシンプルです。私たちは統治します。私たちは栄光の体で、決して死にません。私たちは死ぬま
せん。聖書は、こう告げています。

聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠ってしまうのではなく、みな
変えられるのです。（第一コリント 15:51）

私たちが栄光の体に変えられた瞬間、私たちは、絶対の絶対に死ななくなるのです。
「死がとげを失う」 私たちの体の細胞は、もはや 朽ちていくものではなくなるのです。
だから、後でなく、今、決断することが とても重要なのです。
ここで生きることになる人達は、確実に信者ではありません。彼らは、その肉体で死にますから。彼
らには、死ぬことが可能なのです。それと当然、彼らは、まだ罪深い性質を持っています。そして、千
年王国の千年の後サタンが解き放たれると、それが大きな役割を果たすのです。

皆さん、以上です。
他にもたくさんの質問をいただきましたが、あまり長くしたくありません。長すぎると、あまり人が
見ませんから。だから、そろそろ終わりにします。また次のQ&Aに備えましょう。多分、数週間後。

一つ、皆さんに言っておきたいのは、
今の時代に生きている事を、私達は、超ワクワクするべきです。
今の時代に、主を知っている事を 私達は、超ワクワクするべきです。
今の時代、主に仕える事を、私達は、超ワクワクするべきです。
私達は、自分が今この時代に生きている特権を 理解している事を、超ワクワクするべきです。

イエスの時代と、今日の時代には、大きな類似があります。
どちらも、信じられないような事が 起こるのを見ていて、
どちらも、残念ながら、人々は、時事と預言者達の言葉を繋げなかったのです。
ですから皆さん、どうか、常にこれらを繋げるようにしてください。
預言者達が言った事を信じない、愚かで心の鈍い人にならないように。

また、早く皆さんに警告しておきたいと思います。

大勢の人から、私のところにメールが届いています。 牧師がああ言った、牧師がこう言ったとか、 彼らは、あなたと違う事を言っている、 メディアがああ言っている、こう言っている、と。
まず何よりも、中東で起こっていることは、どれも、ここに住んでいる者の方が、もう少し良く分かっていると思います。しかしもし、メディア、世のメディアが、あなたの情報源なら、あなたは、とんでもない大間違いを犯していますよ。ですから、世のメディアに煽られないように、重々注意してください。エルサレムポストや、タイムズ オブ イスラエルなど 無害なところでさえ、ものすごくズレていますから。彼らが言った事なら本当だろう、などと考えるはいけません。
度々、それは間違いで、多くの場合それは間違いです。
私の時事アップデートは、どれも全く エルサレムポストが言う事は基にしていません。
ただ、あれは非常に悪い情報源である事を、皆さんにお知らせしておきます。

毎日 Q&A が出来る時間があれば良いのに、 と思います。
それは無理ですが、でも、もう少し頻繁に、 時事アップデートの2回に1回、短く Q&A をするとか、ちょっと考えて祈ってみます。

皆さん、ご視聴いただいて、ありがとうございます。 お付き合いくださって、ありがとうございます。 私たちの為に、お祈りをありがとうございます。いつも私たちの事を思い、祈ってくださり ありがとうございます。それから、ミニストリーをご支援くださり ありがとうございます。これは、とても大切です。たくさんの人から、これらのメッセージや 時事アップデートをインターネットで聞いて、主に人生を捧げた、という連絡が届いています。彼らは、やっと物事を理解した、 やっと励まされたと言います。それから、私の知っている人の証も聞きました。彼らがこれを聞いているとは全然知りませんでした。これは、とても感動します。

異なる 180 カ国に届いていて、 これも全て皆さんのお祈りとご支援のお陰です。
本当にありがとうございます。では、最後はアロンの祝福で終わらしましょう。

『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』 民数記 6:24-26
誰にも取り上げる事の出来ない平安、あらゆる理解を超える平安、
平和の君、平和の主だけが与える事の出来る、 神の平安。
ですから、この平安が欲しいなら、彼を信じてください。 イエスの御名によって。 アーメン

ありがとうございます。
私たちの YouTube をフォローしてください。 Behold Israel です。 Facebook も Behold Israel デイブーションとニュースレターを受信したい方は、新しいウェブサイト beholdisrael.org から登録してください。ウェブサイトは、ご質問や、私のメッセージ、 スケジュール、オンラインストア、ミニストリーへの献金も、とても簡単になりましたので、ぜひ、beholdisrael.org を訪れてください。質問がありましたら、ご連絡ください。

ありがとうございます。 ガリラヤより、 God bless you! シャローム! さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>